

# カリキュラムと修了要件 (前期課程)

科目区分		言語コミュニケーション能力養成科目		領域研究科目			実習科目	演習科目			修了必要 単位数											
授業科目の名称(単位数)		<b>&lt;基礎科目&gt;</b> 言語コミュニケーション文化特論(2) 異文化コミュニケーション論(2) スピーチ・コミュニケーション論(2) ことばと文化(2) 英語と文化(2)		<b>&lt;運用能力養成科目&gt;</b> <b>[英語科目]</b> 英語インテンシブ・リスニング(2) 英語オーラル・プレゼンテーション(2) 英語ディベート(2) 英語クリエイティブ・ライティング(2) 英語アカデミック・ライティング(2) <b>[フランス語科目]</b> フランス語論文作成(2) フランス語読解(2) フランス語コミュニケーション(2) <b>[ドイツ語科目]</b> ドイツ語論文作成(2) ドイツ語読解(2) ドイツ語コミュニケーション(2) <b>[中国語科目]</b> 中国語論文作成(2) 中国語読解(2) 中国語コミュニケーション(2)		<b>&lt;言語科学領域&gt;</b> 言語科学(2) 言語意味論(2) 言語語用論(2) 社会言語学(2) バイリンガリズム(2) 音声科学(2) 言語表現論(2) 辞書学(2) 心理言語学(2) 言語習得論(2) 言語構造論(2) 対照言語学(2) コーパス言語学(2) 言語障害学(2)			<b>&lt;言語文化学領域&gt;</b> 言語文化学(2) 比較文化学(2) 異文化理解(2) 思想と文化(2) 批評と文化(2) 演劇学A(2)* 演劇学B(2)* 映画学A(2)* 映画学B(2)* 多言語主義・多文化共生(2) 日本文化A(2)* 日本文化B(2)* 英語圏文化(アメリカ)A(2)* 英語圏文化(アメリカ)B(2)* 英語圏文化(イギリス)A(2)* 英語圏文化(イギリス)B(2)* フランス語圏文化A(2)* フランス語圏文化B(2)* ドイツ語圏文化A(2)* ドイツ語圏文化B(2)* 中国語圏文化A(2)* 中国語圏文化B(2)*			<b>&lt;言語教育学領域&gt;</b> 言語教育学(2) カリキュラムデザイン(2) 教育評価B(2) 英語教育教材研究(2) 英語教育実践(2) 言語教育政策(2) 第二言語習得(2) 授業分析(2) 言語教育研究法(2) 小学校英語教育実践(2) 英語教授法実践(2)【注2】 言語学習心理学(2) 教育評価A(2) 英語教育法(2) 早期英語教育理論(2) 言語教育と社会(2)			<b>&lt;日本語教育学領域&gt;</b> 日本語教育学概論(2) 日本語語彙・文法教育(2) 日本語会話分析法(2) 日本語と中国語の翻訳研究(2) 日本語音声教育(2) 言語習得と日本語教育(2) 日本語フィールド調査法(2) 日本語と英語の翻訳研究(2) 日本語文字・表記教育(2) 言語社会と日本語教育(2) 日本語翻訳論(2) 日本語教育トピックス(2)			日本語教育実践I(3) 日本語教育実践II(3)	研究演習I(2)	研究演習II(2)	課題研究(2)	30単位
修士論文コース	言語科学領域	言語科学プログラム	2単位	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目	}の中から6単位	14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—	30単位										
	言語教育学領域	言語教育学プログラム				14単位	(各語圏文化の2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
	言語文化学領域	地域文化研究プログラム				18単位	(多言語主義・多文化共生の2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
		多言語多文化学際プログラム				18単位	(演劇学A・B、映画学A・Bの中からの2単位とそれ以外の言語文化学の領域研究科目2単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
	日本語教育学領域	プロフェッショナルプログラム				16単位	(日本語教育学の領域研究科目10単位を含む)	6単位	—	4単位	4単位		—									
		アカデミックプログラム				22単位	(日本語教育学の領域研究科目8単位を含む)	—	—	—	—											
日本学ダブルディグリープログラム		22単位	(日本語教育学の領域研究科目8単位を含む)	—	—	—	—															
課題研究コース	言語科学領域	言語科学プログラム	2単位	・英語科目 ・ドイツ語科目 ・フランス語科目 ・中国語科目	}の中から8単位	16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	—	—	4単位	30単位										
	言語教育学領域	言語教育学プログラム				16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	—	—	—											
ダブルディグリーコース スターリング大学	言語科学領域	言語科学プログラム	2単位	英語科目の中から4単位(1年春学期に履修)	}の中から4単位	16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—	30単位										
						14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
	言語教育学領域	言語教育学プログラム				16単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
						14単位	(選択したプログラムの領域研究科目4単位を含む)	—	4単位	4単位	—											
学位コース 英語教育対象 1年制修士	言語教育学領域	言語教育学プログラム	2単位	—	—	24単位	(英語教授法実践2単位とそれ以外の言語教育学プログラムの領域研究科目18単位を含む)	—	4単位	—	—	30単位										

【注1】日本語教育学の各プログラム生が「ことばと文化」、フランス語科目、ドイツ語および中国語科目を除く言語コミュニケーション能力養成科目を履修するためには、TOEFL iBT61点以上またはTOEFL ITP 500点以上(いずれも提出時点で受験日から2年以内のもの)、またはTOEIC (TOEIC-IPを含む) 600点以上のスコアを有することを条件とする。  
 【注2】英語教授法実践は、英語教育対象1年制修士学位コース学生以外は履修不可。  
 ☆領域研究科目の開講原則:4学期間に最2回(言語科学と言語教育学は昼と夜を各1回)開講する。  
 ☆「演劇学」、「映画学」、「日本文化」、「英語圏文化(アメリカ)」、「英語圏文化(イギリス)」、「フランス語圏文化」、「ドイツ語圏文化」、「中国語圏文化」、それぞれA・Bともに隔年開講する。(A・Bあわせて、4学期間に2回開講する。)  
 ※修了要件の一つ(専門外国語学力の認定)として「運用能力養成科目」2科目の修得あるいは、TOEFL、IELTS、TOEICのいずれかの試験において、研究科が定める一定以上のスコアが必要である(外国人留学生の専門外国語学力認定については別途定める。)